

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 日

事業所名 がまごおり・こどもデイサービス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		利用児数に対するスペースは十分に確保できています。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		基準に基づき職員を配置しています。	基準以上の人員を配置しています。個々の状況に応じた対応をしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		生活空間はワンフロアではありますが、活動内容に応じてパーテーションを使用し構造化された環境を整えています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		子どもが帰った後に玩具等を含めて室内の清掃・消毒をしています。	活動によって館内の広い部屋を借りて行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		<input type="radio"/>	年度末に職員に業務のアンケートを実施しています。	事業報告や事業計画の周知を今後、図っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		<input type="radio"/>	年に数回、保護者向けにアンケートを実施して業務改善につなげています。	アンケートの集計結果をご家族に報告をする機会を作っていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果や改善内容を取りまとめて、ホームページにて公開していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現在、評価項目における職員間での話し合いを行っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		法人内研修や講演に参加し、職員会議で研修内容を共有しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		生活チェック表保護者・職員が双方で行い、保護者との面談を年3~4回行っています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		事業所独自のアセスメントツール(生活チェック表)を利用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		個別面談時に、保護者からの相談や担当職員からの提案に応じて「発達支援」「家族支援」「移行支援」に項目立てをして、具体的な援助方針を記載しています。	併用利用先に訪問して、本人の様子を見学させていただき、情報交換・共有を今後とも継続して取り組むように努めます。また、家族支援が必要なご家庭は、家庭訪問をする機会を作りたいと考えます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		職員会議で一人ひとりの支援計画の目標、援助方針を確認をしています。目標を職員が常に目にすることができるよう個別記録に記載してあります。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		季節の行事は年間の予定表に基づいて担当職員間で内容の検討と確認をしています。日々の活動内容は職員会議の中で意見を出し合い検討をしています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節の行事や製作など静的活動と体操など動的活動を盛り込んで固定化しないようにしています。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		子どもの状況に応じて、個別に取り組むこと、集団で取り組みたい事を取り入れて作成しています。		

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝の打ち合わせで日案担当者を中心に活動のねらいや流れ、役割等を確認しています。	送迎で打ち合わせに抜けてしまう職員には、日案担当者が個別で伝えるように声をかけています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		支援終了後に子どもたちの様子や活動内容を振り返り、保護者との話等については報告しています。	振り返りの時に次にどう展開をしていくのがいいかも意見をもらっています。また、ヒヤリハット等についても情報共有と改善策を検討しています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		個別の記録用紙に支援目標に基づいた日々の記録や保護者からの話、健康面等を記録に残しています。	必要に応じてケース検討を実施し、支援の検証と改善に努めています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		3～4か月毎に保護者と面談を実施し、評価をしながら見直しをしています。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		管理者と資格保持者が併用している同市の母子通園事業所と情報共有を行い、会議記録を残しています。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>		年2回訪問療育を行い、保健師・子ども子育てコンシェルジュ・ST等が参加。個々の現状や状況を把握し情報共有しています。	個々の状況に応じてDrや子育て支援課など各関係機関と連携を図っていきます。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	非該当		
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	非該当		
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		引き継ぎ書を活用し情報提供を行っています。また、保育園に移動後や保育園と併用の場合は、訪問療育などを利用し情報交換と相談に乗っています。	今後とも細部にわたり、関係機関との連携を図っていきたく考えています。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		事前に支援学校の親子担当者が来園して本人の様子を見学し、状況などの確認をしています。現在の状態をまとめて引き継ぎ書を作成して学校に渡しています。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		同法人の母子通園事業所が開催している研修に積極的に参加しています。	市内はもちろん、市外の研修にも積極的に参加していきたくです。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		保育園が行っている園庭開放や交流保育の参加を勧めています。	認定こども園や幼稚園に対して交流する機会を設けるよう働きかけます。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		法人代表が参加しており、会議等で内容を報告し職員への周知を行っています。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時や連絡帳で日々の状況を伝え、情報の共有を行っています。	定期的での面談以外にも保護者の希望に応じて相談の場を設けています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>		年2回の訪問療育時に必ず専門家を招いて勉強会を開催しています。	勉強会の回数を増やしていきたく考えています。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に重要事項や利用者負担等の説明を行っています。また、変更があった場合は書面にてお伝えしております。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ています。ご家族用と事業所用を用意してそれぞれ保管しております。	
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		個別支援面談時以外にも随時、相談を受け付け助言や支援を行っています。	

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		保護者会を開催しておりません。茶話会などの交流の場を設けております。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応が出来るようにしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		活動概要や行事予定を発行し、行事報告は室内にて掲示してあります。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行い、承諾を得ています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		総カードや写真カードを活用し視覚的に工夫しています。子ども達からの要求伝達のためにコミュニケーションツールを活用しています。	事業所で行っている方法を保護者にその都度保護者に伝えていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		会館内の行事(クリスマス会や避難・消火訓練)に参加しています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		マニュアルを策定し掲示などで所クインでの周知をしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		月1回を目安に火事や地震の避難訓練と年1回引き取り訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>		近況調査表に記入してもらい面談時に確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		現在、対象となる子どもはいません。	対象者の家での対応策や医師からの指示をお伺いしますが、具体的な対応方法を書面にしておく必要があると思っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		報告書を作成して事業所内で共有し、解決策を検討しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		市内や法人内の研修会に参加し、感想などを伝える機会を作って共有しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		現在、対象となる子どもはいません。	具体的にどのような場合にどうするのかを事業所内で決めて、書面にしておく必要があると思っています。